

今、何の病気が流行しているか！

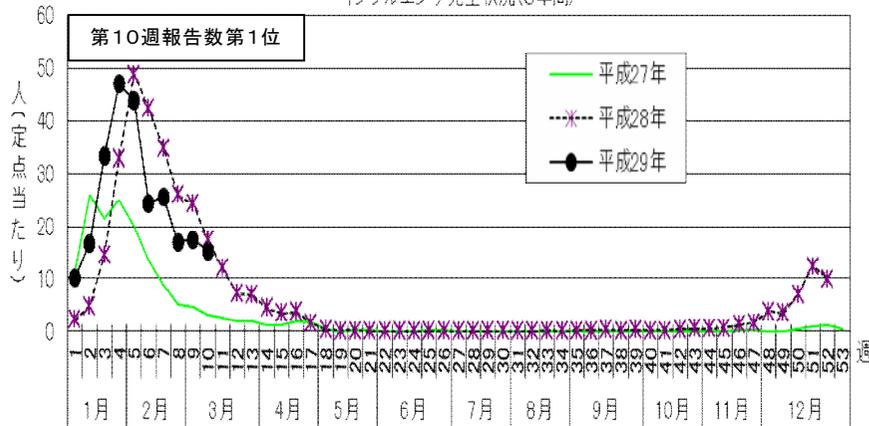
【感染症発生動向調査事業から】

平成29年3月6日（月）～平成29年3月12日（日）〔平成29年第10週〕の感染症発生状況

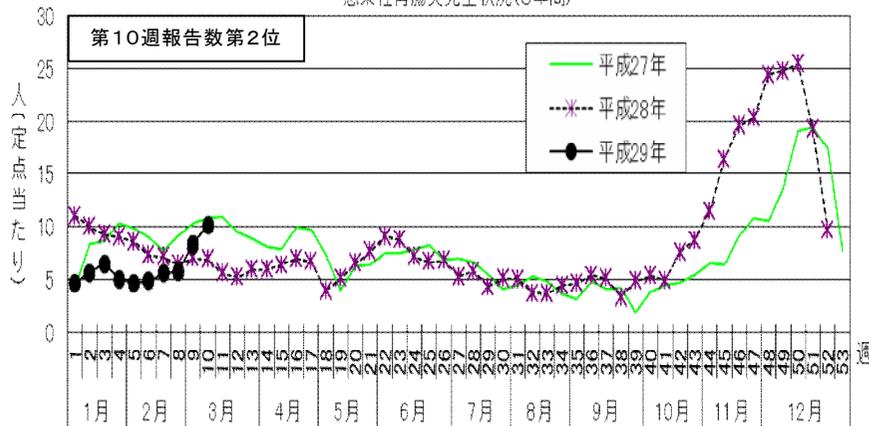
第10週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は15.27人と前週（17.53人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は10.14人と前週（8.33人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.03人と前週（2.53人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



インフルエンザ発生状況(3年間)



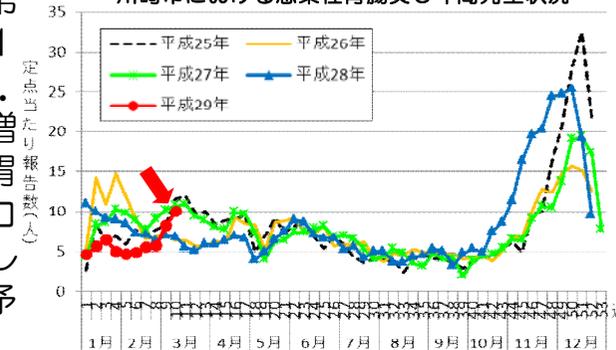
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



まだまだ気を付けよう！！感染性胃腸炎

川崎市において、感染性胃腸炎の第10週（平成29年3月6日～3月12日）の定点当たり患者報告数が10.14人となり、2週連続で報告数が増加しています。ノロウイルスによる胃腸炎の流行だけでなく、全国的にノロウイルスによる集団感染事例も発生しています。感染を広げないためにも予防対策が重要です。

川崎市における感染性胃腸炎5年間発生状況



ノロウイルスの感染を広げないために！！

手洗い

手洗いは、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。手洗手順リーフレット*（できていますか？衛生的な手洗い）を参考にして、調理前、食事の前、トイレの後、下痢等の患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後には必ず手洗いを行いましょう。

(*リーフレット⇒http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/dl/link01-01_leaf02.pdf)

消毒

ノロウイルスは感染力が強いため、患者が発生した場合には、ドアノブ等よく触る部分を塩素系消毒液等で消毒することが大切です。

(※次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブ等）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。)



手洗いのポイント！

- ①流水で洗う
- ②十分な量の石鹸等を使って
- ③指先から手首まで念に
- ④十分な流水でよく流す
- ⑤しっかり乾燥



2度洗いが効果的！！

(手洗手順リーフレットより抜粋)